

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年 1 月31日
【会社名】	飯野海運株式会社
【英訳名】	IINO KAIUN KAISHA, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 関根 知之
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 1 号
【電話番号】	東京（6273）3207
【事務連絡者氏名】	経理グループリーダー 小山 聡司
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 1 号
【電話番号】	東京（6273）3207
【事務連絡者氏名】	経理グループリーダー 小山 聡司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目 8 番16号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番 2 号）

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成24年1月31日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は平成23年4月に公表した中期経営計画「Iino's Evolutionary Growth Plan to 2014（IEG14）- 成長と進化 - 」に基づき、当社重点戦略部門であるケミカル船事業の構造改革を進めております。

このケミカル船事業の構造改革の一環として、平成25年3月期竣工予定船を含むケミカルタンカー2隻の売却方針を取締役会で決議したことに伴い、連結決算においては連結子会社が保有する船舶及び建設仮勘定において固定資産売却損及び減損損失を計上し、個別決算においては関係会社整理損失引当金繰入額等を計上する予定です。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成24年3月期の連結決算及び個別決算において、ケミカル船事業の構造改革に伴う費用を特別損失として約40億円計上する予定です。